

で、之は、世尊四大奇蹟の跡である。誕生の地迦毗羅衛 *Kapila vastu* 成道の地
佛陀伽耶 *Bodhi-Gaya* 初轉法輪の地婆羅奈斯 *Bénarés* 及び、涅槃の地拘尸那竭羅
Kusinagara である。

試みに此の四所の巡拜をすゝるとして、象の背に跨つて、先づネバル國境の
彼方テライ *Térai* の米田を越えて、ヒマラヤの麓、山頂の雪を見る邊り、阿
育王が後代の爲に石柱を建てた地に行く。之は今も其姿を存し『世尊此處に降
誕せり』と明かに刻文がある。此處から恒河の南佛陀伽耶に向つて、其の新芽
の菩提樹に額づく。佛陀は、數々の苦行も空しく、この聖樹の蔭に於て、記
念すべき日の早曉、等正覺の曙光を身證したのである。佛陀伽耶から婆羅奈
斯の方に轉じて、今日サールナート *Sarnath* と呼ぶ古の聖都の北郊に鹿野苑
を訪ふ。こゝで世尊は初めて法輪を轉じ、五比丘を教化したのである。再び
道を北に返して、カシアの附近に、世尊が遺法と身證とを残して入滅された
所に至るのである。此等の靈場は何れも、今日尙ほ巡禮の數を絶たず、西藏、
セイロン、ビルマ、更に遠隔の地から來るものに出會ふので、それだけに容